



図書館だより

平成22年 3月

主な内容

- 巻頭言 1
- 「国民読書年」 2
- 「平成22年度各種講座・館内資料展示」 2
- 館内展示コーナー 3
- レファレンス事例紹介 3
- おしらせ・利用案内 4

※行事予定は、カウンターでお渡しします。

島根県立図書館報 第188号

幼児期に親子読書を

島根県国公立幼稚園長会

会長 狩野 由美子

幼児期に親子読書が大切であると言われてから随分年月が経ちました。

当初は、幼稚園の現場で、あるいは公民館で、親子読書の推進に向けて活発な活動が展開されました。各幼稚園では、保育に積極的に絵本の読み聞かせを取り入れたり、保護者対象に講話会をしたりと親子読書の普及に努めたことをつい最近のこのように思い出します。

その後いたるところで親子読書が定着し、保育現場で絵本貸し出しを実施したり図書館へ足を運ぶ親子も増えていきました。

しかし、近年様々なメディアが氾濫し、テレビ・ゲーム等が子ども達の間に急速に浸透し、このことが読書離れにつながってきているように思います。

そんな時、ある研修会で絵本作家の“ひろかわさえこ”さんのお話を聞く機会に恵まれました。ひろかわさんは、絵本を通して子どもにやさしい心を育てることの大切さや絵本のもつことばのリズムの美しさについて話されました。お話を聞き、絵本のすばらしさや読み聞かせの大切さを改めて実感いたしました。

私は保護者の方に、いつも「絵本で子育てしませんか？」と問いかけています。毎日ほんのわずかな時間、親子読書を生活の中に位置づけることで、子どもは親のぬくもりを肌で感じることができます。

このひと時の積み重ねがより良い親子関係につながっていくものと思います。

絵本を通して親子でゆったりとふれあう中で、子どもは自分でいろいろとイメージをふくらませ、夢を抱いていきます。そんな時間を十分に味わった子どもは、精神的に落ち着き、情感豊かな思いやりのある心が育っていくことでしょう。人間形成の基盤である幼児期に親子読書をすることで、しっかりと親子がふれあい心豊かであたたかい気持ちを育てていきたいものです。

そして、幼児期に味わった読み聞かせの心地よさが、児童期・青年期のより良い読書につながっていきますように願っています。



「絵本貸し出しの様子」

「子ども読書県しまね」ホームページ、オープン!

「子ども読書活動」の取組について、まとめて情報を提供するホームページが開設しました。島根県内における子どもの読書にかかわるイベントや県の取組、学校図書館や家庭での読書活動など、随時最新の情報をお届けします。

島根県立図書館ホームページまたは下記 URL からみることができます。

URL: http://www.lib-shimane.jp/sinkodomodokusyoken/kodomodo_kusyoken_shimane.html



2010年は、「国民読書年」



このロゴ、見かけたことがありますか。本や新聞の向こうにある無限の世界と知の世界に夢中になっている目をイメージしたものです。国は活字離れを止めようと、今年を国民読書年としています。キャッチフレーズは、「じゃあ、読もう。」生活習慣としての読書を呼びかけています。

当館では11月の読書週間にあわせて、国民読書年にちなんだテーマ展示を行います。どうぞお楽しみに。

平成22年度二島根県立図書館各種講座

多数ご参加ください

講座名	出雲国風土記を読む会	しまね文学散歩	古文書を読む会		図書館成人読書会	子どもおたのしみ会	親子で絵本を読む会	お父さんといっしょに絵本を読む会	お話の会
			近世初級	中世					
開催日	毎月第2金曜日	毎月第3日曜日	毎月第1土曜日	毎月第3土曜日	毎月第2火曜日	毎月第4土曜日	毎月第2、第4水曜日	毎月第3日曜日	毎月第2土曜日
時 間	13:30～15:00	10:00～12:00	10:00～11:30	13:30～15:00	13:00～15:00	10:00～11:00	15:00～15:30	15:00～15:30	13:30～14:30
講 師	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 寺本喜徳氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	県立図書館職員 ボランティア	県立図書館職員	県立図書館職員	ボランティア
募集人員	80名	80名	50名	50名		フリー	フリー	フリー	フリー
対 象	一 般	一 般	一 般	一 般	一 般	小学生・低学年	幼児、小学生親子	幼児、小学生親子	幼児、小学生親子
内 容	唯一完本として残っている「出雲国風土記」を読みながら古代出雲のもつ深い歴史を理解する講座です。	島根に生まれる文人や来遊文人たちによる島根に関する作品を読み、文学から山陰の風土に接していきます。	郷土に関する近世の古文書の初級者向けをテキストとして読解する講座です。	中世の古文書をテキストと史料の背景をなす郷土史の研究に資する講座です。	参加者が編成したグループ毎に、同じ本を読み意見を交換をします。3人以上でお申し込み下さい。	読み聞かせ、紙芝居、手遊び、工作等を交えた催しです。本から広がる楽しさ、喜びを引き出します。	絵本の読み聞かせをとおして、親子で読み聞かせの楽しさを味わいます。おはなしのへやで行います。	絵本、昔話などを読み聞かせで紹介いたします。読み聞かせの楽しさを味わってほしい、家庭で読み聞かせを薦めます。	ろうそくの灯がともると、ストーリーテリング（語り）によるお話の世界が始まります。毎月4～5話のお話を親子で楽しむことができます。
テキスト	「出雲国風土記」加藤義成著 報光社発行	毎月当館で印刷したもの 代金 年間500円	毎月当館で印刷したもの 代金 6ヶ月毎に500円		成人読書会用図書				

新規に申込みをされる方は、直接、または葉書が電話で「受講希望講座名、住所、氏名、電話番号」を下記までお知らせください。会場は県立図書館集会室です。（但し「親子で絵本を読む会」「お父さんといっしょに絵本を読む会」「お話の会」はこども室・おはなしのへやです）
〒690-0873 松江市内中原町52番地 島根県立図書館 資料情報グループ TEL 0852-22-5734

平成22年度二館内資料展示計画

* 県立図書館の資料を月ごとにテーマをきめて紹介します。

月	テ	マ	月	テ	マ
4	坂本竜馬と岩崎弥太郎		10	お雇い外国人の足跡	
5	鉄道のある風景－映画「RAILWAYS」にちなんで		11	国民読書年	
6	雇用問題を考える		12	ピアノの詩人 ショパン	
7	山陰の民芸－河井寛次郎生誕120年		1	日本の城－日本100名城を中心に	
8	おすすめしたいこどものほん2010		2	仏像を鑑賞しよう	
9	古事記の世界		3	色の世界	

館内資料 展示コーナー

お勧め
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。
12月から2月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂
きたい本を紹介します。

※展示リストはホームページからご覧になれます。

※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

12月テーマ 松本清張の世界

『点と線』

膨大な資料を調査し、それを駆使して事件を描く独特の手法で、社会状況や人間存在を掘り下げていく「社会派推理小説」を確立したと言われる作品。1968年に発表され推理小説ブームを作り出しました。

『古代出雲・荒神谷の謎に挑む』

古代史にも深い興味を寄せた著者は、荒神谷遺跡の発見にも深い興味をよせ、1986年に松江市で開かれた公開シンポジウムでは司会を務め、参加した論客と議論を交わしました。本書はその記録集です。

1月テーマ 雪に関する資料展

『雪は天からの手紙 中谷宇吉郎エッセイ集』

池内 了 編 岩波書店 2002年刊

雪深い北陸に生まれ育った物理学者、中谷宇吉郎博士は雪の結晶の美しさに魅せられて雪と氷の研究に打ち込み、「雪氷学」という研究分野の先駆者となりました。自然を丁寧に観察し正確に表現する科学者の視点で書かれた、科学の素晴らしさ、面白さを感じることでできるエッセイ集です。

『雪の写真家ベントレー』

ジャクリーン・ブリッグス・マーティン作 BL出版 1999年刊

アメリカの豪雪地帯に生まれ、幼いころから雪に魅せられて雪の研究と結晶の写真撮影に情熱を注いだベントレーの伝記絵本です。ベントレーの撮影した美しい雪の結晶の写真集『雪の結晶 (Snow Crystals)』は、雪氷学の先駆者中谷宇吉郎博士の研究に影響を与え、今なお人々の心を魅了しています。

2月テーマ 辞書のはなし

『辞書を読む愉楽』

柳瀬尚紀／著 角川書店 2003年刊

英文学者・翻訳家として様々な辞書に接する機会の多い著者が、日本語・英語の辞書のほか、将棋や競馬の事典など多岐にわたる辞書について、引くだけではなく読み物としての楽しさを語るエッセイ81編をまとめたものです。

『あなたの知らぬ辞書がある』

辞書・事典発掘探検隊／編 実務教育出版 1998年刊

一般的な国語辞典や語学事典ではなく、SF宇宙生物やなぞなど、鉄道用語にグルメや酒といった、読んで楽しめる趣味的な事典やマニアックな事典・図鑑などを中心に紹介した一冊です。

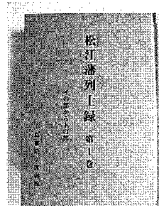
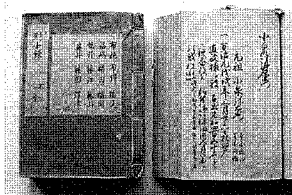
郷土資料紹介

「松江藩 列士録」

松江藩松平家歴代家臣の系譜と勤功の記録。

初代松平直政が信州松本より松江に移った寛永16年(1638)から明治2年(1869)までの松江藩士約1000家分について、イロハ順に家ごとの元祖から幕末の代まで記録したものです。

松江藩の上士の家系を知るのみでなく、職制・格式をはじめ、武士社会の構造を研究する上でも貴重な史料です。
当館には原本57冊と翻刻版6冊を所蔵しています。
ご利用下さい。



レファレンス事例紹介

こんな問い合わせがありました

Q

江戸時代のエコ生活について知りたい。

A

江戸時代には生活全般にわたって、すでにリサイクルのしくみがありました。例えば、紙くずは紙くず拾いに拾われたあと、紙漉き職人のところに集められ、再生紙が作られました。釘や銅などの金属類は、回収され、鍛冶屋が溶かして新しい品物を作りました。たくさんの修理屋がいてこわれてもすぐに捨てない習慣がありました。たまった糞尿はくみ取られ、畑に運ばれて野菜の肥料として利用されました。買い集める専門の業者もいました。1枚の着物も、いらなくなると古着屋で売られ、何度も仕立て直されて、こどもが着たりします。その後、ふとんにしたり、おむつや雑巾にした後、焼いて燃料となり、その灰は畑の肥料となりました。

●参考文献

『江戸のくらしから学ぶもったいない 全3巻』

秋山浩子／文 伊藤まさあき／絵 汐文社 2008

『地球の未来とゴミ学習2リサイクルを調べる』

服部美佐子著 さえら書房 2005

『エコでござる一江戸に学ぶ 全3巻』 すずき出版 2009

学校図書館活動紹介パネル展

と き：平成22年4月2日（金）～5月5日（水）

ところ：県立図書館2階回廊ほか

昨秋、県内5箇所で開催された「しまね子どもフェスティバル」において、各地10～12校の学校図書館の取組が、1校1枚のパネルで紹介されました。今回、54校のパネルを一同に集め、前期（4月2日から4月18日まで）と後期（4月20日から5月5日まで）に分けて展示します。



昔話やわらべうたの小物

邑南町読書ボランティア活動展

—4/23「子ども読書の日」にちなんで—

期日 4月20日（火）～4月29日（日）

場所 島根県立図書館 特別研修室（こどもしつ隣り）

内容 ・「工房 リとるきゃんどる」の昔話やわらべうたの小物の展示
・「ちいさなろうそくの会」「おはなし会トムテ」「わらべうたの空色の風」の邑南町の読書ボランティア活動の紹介

参加自由・無料

開館日カレンダー

平成22年

3月 展示：先人の生き方から学ぶ

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4月 展示：坂本竜馬と岩崎弥太郎

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月 展示：鉄道のある風景-映画「RAILWAYS」にちなんで

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

■黒字…9:00～19:00 ■青字…9:00～17:00

■赤字…休館日

読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。
お問い合わせ 子ども担当（0852-22-5746）または
西部読書普及センター（0855-23-6785）まで。

お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。
①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索（県立図書館HP）や、電話での問合せ（0852-22-5748）またはお近くの市町村図書館までおたずねください。
②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館（図書館未設置の5町村は中央公民館等）へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料（古いものも、新しいものも）を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

利用案内

- 開館日時間 火曜日～金曜日 3月～10月 9時～19時
11月～2月 9時～18時
土曜日・日曜日・祝日 通 年 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日（祝日にあたるときは開館）・第1木曜日
年末年始 12月28日～1月4日・特別整理休館

※詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52
TEL 0852-22-5725 FAX 0852-22-5728

発行日 平成22年3月10日